

“未知と出会う” 3 日間の体験型アートイベント

## 「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter」開催

～ 元小学校を舞台に、アーティストの制作室を一般公開 ～

日程：2026 年 2 月 20 日（金）～ 22 日（日） 会場：京都芸術センター

京都芸術センター（京都市中京区）は、アーティストの制作室を一般公開し、ダンスや演劇、美術など多彩な表現に気軽に触れられるイベント「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter（以下、OPEN DAY）」を、2026 年 2 月 20 日（金）から 22 日（日）まで開催します。子どもから大人まで楽しめる、“未知”と出会うワクワクを体験できる 3 日間のオープンイベントです。



### つくる途中をのぞいて、やってみるー 11 組のアーティストによる多様なワークショップ

AI やデジタル技術の進展により、“正解”や“わかりやすさ”があふれる現代。「OPEN DAY」は、答えを急がず、“まずはやってみる”ことを楽しむオープンイベントです。

アーティストが制作に使用しているスタジオ（制作室）を一般公開し、作品が完成するまでの試行錯誤を来場者と共有します。ダンスや演劇、美術など多様なジャンルの 11 組のアーティストたちが、身体や手を動かしながら、さまざまな表現に触れられるワークショップを展開。子どもから大人まで、初心者から経験者まで、それぞれの興味に合わせて参加できる内容です。

プログラムは、95 年前に建てられた元小学校（登録有形文化財）の教室や講堂など、京都芸術センターの館内各所を舞台に行われます。伝統を大切にしながらも、新しいものの好きで多彩な表現に寛容な京都という土地で、用途を変えながら使い継がれてきた建物を会場に、新しい発想や思いがけない発見に出会える 3 日間。特設フード＆ドリンクエリアも含め、“未知”との出会いを気軽に楽しめます。

## 概要

イベント名： 「Kyoto Art Center OPEN DAY 2026 Winter」

会 期： 2026 年 2 月 20 日（金）～22 日（日）

会 場： 京都芸術センター

主 催： 京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）

ワークショップ（※カッコ内はアーティスト名）：

### ■ ダンス：

「京都芸術センターの廊下を音を立てず歩くそれすなわちダンスなり（増川健太）」

「みんなで楽しむハッピーダンス！（セレノグラフィカ）」

「はじめてのコンテンポラリーダンス（吉本渚）」

### ■ 舞台・演劇：

「あなたが体験した怖い話・不思議な話 を教えて（劇団トム論）」

「創作ってむずかしい？～ことばを紡いで物語を作る～（劇団ヨアガキ）」

「new tool- 使われなくなった舞台美術を新たな道具に-（共通舞台）」

「『銀河鉄道の夜』を、感じるワークショップ（てんこもり堂）」

「舞台芸術の『推し』を探せ！～あなたが観たい公演の見つけ方～（THE GO AND MO'S）」

「群像会話をやってみよう（ヨーロッパ企画：上田誠）」

### ■ 美術：

「ペットボトルキャップからカラフルなチャームを作ろう！（福本浩子）」

「抽象画入門ワークショップ（斉藤真人）」

その他イベントやフード＆ドリンクは、公式ウェブサイトをご確認ください。

公式ウェブサイト： <https://www.kac.or.jp/events/0129/>

## 「OPEN DAY」とは

京都芸術センターでは、新進又は若手の芸術家等の活動を支援するため、制作支援事業として「制作室（全 10 室）」を一回最長 3 か月間無償で提供しています。

制作室を使用するアーティストたちの活動を体験できる「[明倫ワークショップ](#)」は毎月開催していますが、「OPEN DAY」は京都芸術センターの建物全体を使って芸術を楽しむ特別なイベント。日頃はクローズドな空間で進められている活動や、作品が生まれる前段階にある試行錯誤や思考をアーティストと来場者が共有することを目的として開催しています。子どもから大人まで、初心者から経験者まで楽しめるさまざまなジャンル（ダンス・舞台/演劇・美術など）のワークショップが開かれます。あまり接することのないアーティストたちと時間を共有し、新たな表現や視点と触れることで、“未知”と出会える機会です。



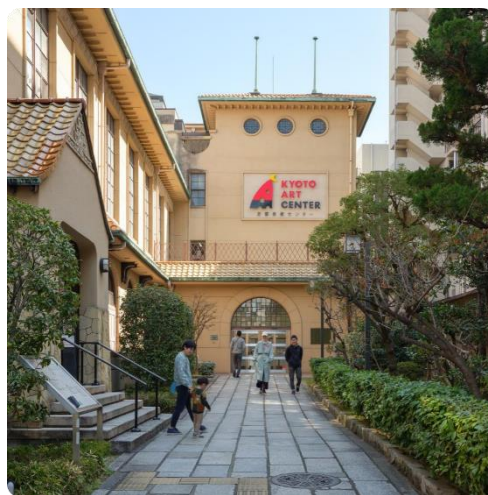
©高野友実



©OMOTE Nobutada

## 京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に 2000 年 4 月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進に取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、伝統芸能、演劇、ダンス、音楽などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。



京都芸術センター外観 ©高野友実

### <本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL：075-213-1000、E-mail：pr@kac.or.jp、担当：福島